

資料の解説

写真番号	古墳(遺跡名)・所在地	時期	資料の特徴	保管
表紙	 長瀬高浜遺跡(一部消滅) 東伯郡羽合町長瀬	中期	古墳以外の場所、それも砂丘の下から大量の埴輪が出土しました(上)。何のためにここに置かれたのかはよく分かっていません。 出土した埴輪(下)には円筒形あるいは上が朝顔の花のように広がった単純なものから、家、盾・よろいかぶとといった武具、身分の高い人にさしかける傘をかたどったものなどがあります。これらの埴輪は現在、国の重要文化財に指定されています。	羽合町歴史民俗資料館 電話0858 - 35 - 3111
	 里仁32号墳(消滅) 鳥取市里仁	前期～中期	一辺14mの方墳に棺として使われていました。下の円筒形ですが、口の部分は土器の壺のようになっています。円筒形の埴輪の上に壺形の埴輪をのせた様子を表現したものです。また、横には鱧(ひれ)と呼ばれる板が付けられています。	鳥取市教育委員会 電話0857 - 22 - 8111
	 土下211号墳 東伯郡北条町土下	後期	ツンと立った耳を持った、愛くるしい顔をしている鹿の埴輪です。体は赤く塗られ、白い斑点がつけられます。子鹿を表現しているようです。国の重要美術品にもなっています。	鳥取県立博物館 電話0857 - 26 - 8042
	 向山142号墳(消滅) 倉吉市巖城	後期	鶏をかたどった埴輪です。一つはほぼ完全な形で、羽の形も立体的に表現しています。もう一つは首から下が欠けていますが、頭にはとさかか表現されています。2つとも全体が赤く塗られていたようです。	倉吉博物館 電話0858 - 22 - 4409
	 沢ベリ7号墳(消滅) 倉吉市不入岡	後期	男性(右)と女性(左)の埴輪です。2つとも全体が真っ赤に塗られています。男性の埴輪は頭に帽子のようなものをかぶり、左側に弓(?)を持っています。体には白い斑点がつけられています。 女性の埴輪は、両手で壺を持って捧げる様子をかたどったようです。巫女を表現しているのでしょうか。県内で出土した人物の埴輪はほとんどが男性で、女性は珍しいといえます。また、腰には小刀を下げていますが、小刀を下げた女性の埴輪は全国的にも例がありません。	倉吉博物館 電話0858 - 22 - 4409
	 別所1号墳(消滅) 米子市別所	後期	円筒形の埴輪ですが、人物の顔が表現されており、横には両側に板がついています。の埴輪と同じように盾を持つ人物をかたどったものと考えられますが、かなり簡略化しているようです。	米子市教育委員会 電話0859 - 22 - 7111
	 ハンボ塚古墳(消滅) 西伯郡名和町名和	後期	直径33mという大きさをもつ立派な円墳から出土しました。何かを訴えているかのような表情をした素朴な人物と、くちばしの長い水鳥が特徴的です。	名和町教育委員会 電話0859 - 54 - 5211
	 井手挾3号墳(消滅) 西伯郡淀江町富繁	中期	顔に文様の入った仮面をつけ、体の前に盾を持った人物をかたどった埴輪です。邪悪なものを追い払い、古墳に埋葬された人を守る役割があったと考えられます。	淀江町教育委員会 電話0859 - 56 - 3111
	 上ノ山古墳 西伯郡淀江町福岡	中期	入母屋造りの家をかたどった埴輪です。家の埴輪は古墳の頂上に置かれており、埋葬された人があの世で住む家を表したものと考えられます。また、このような埴輪から、古墳時代の実際の家の姿を想像することができます。	淀江町教育委員会 電話0859 - 56 - 3111
	 石馬谷古墳 西伯郡淀江町福岡	後期	古墳に並べられたのは土製の埴輪ではありませんでした。木や石で作ったものも古墳に並べられていました。石で作ったものを古墳に並べるのはほぼ九州に限られ、この石の馬は九州以外では唯一のものです。前脚が欠けていますが、その他はとてもよく残っており、国の重要文化財に指定されています。	淀江町歴史民俗資料館 (伯耆古代の丘資料館) 電話0859 - 56 - 3316

はにわ
鳥取県の埴輪



古墳時代の始まり、それは埴輪の時代の始まりでもありました。最初に作られた円筒形の埴輪は、弥生時代後期に今の岡山県で墓に供えられていた土器から生まれました。しばらくして、ものをかたどった埴輪が作られます。家をかたどった埴輪は、死者がああの世で暮らす建物を表していると考えられます。武具(盾や甲冑)や身分の高い人にさしかける傘をかたどった埴輪は、古墳を守り、飾り立てる意味があったのでしょうか。古墳時代も中ほどになると、人物や動物をかたどった埴輪が作られます。人物の埴輪は、死者に対して古墳で行ったまつりの様子を土で作ったものと考えられ、古墳時代後期にはいろいろな姿の人物の埴輪を古墳に並べることが流行します。動物の埴輪もそれぞれ意味を持っていたようです。このように、埴輪は次々に新たな種類が加わり、その意味も変えながら、古墳時代を通して作られ、おもな古墳に並べられ続けます。その変化を追うことで、人々が古墳で行っていたまつりの様子や、死者に対する思いを知ることができるのです。

鳥取県埋蔵文化財センター

鳥取県岩美郡国府町宮下1260
電話(代表) 0857-27-6711
F A X 0857-27-6712
ホームページ <http://www.pref.tottori.jp/maibun/>

鳥取県で発見されたいろいろな埴輪



淀江町井手挾3号墳



淀江町上ノ山古墳



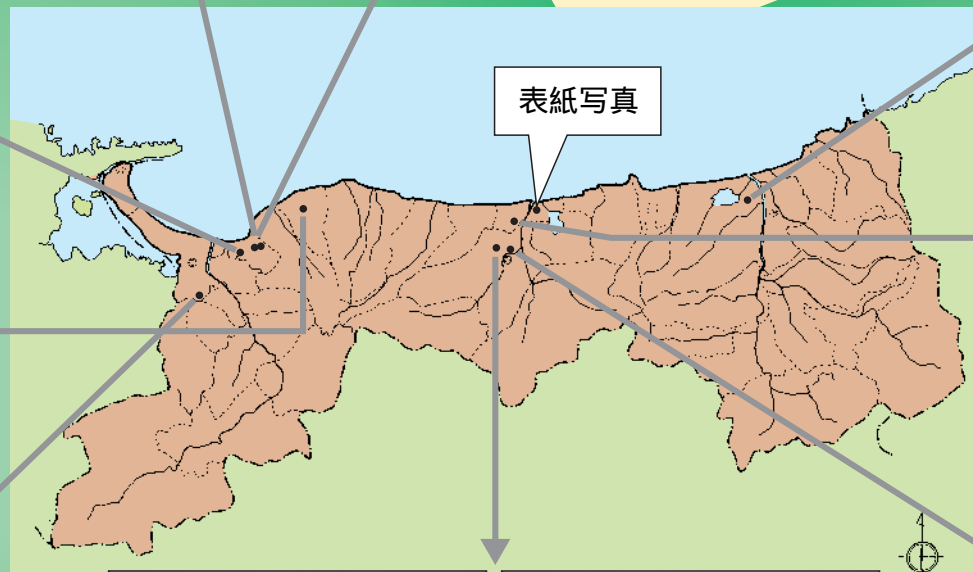
淀江町石馬谷古墳



鳥取市里仁32号墳



名和町ハンボ塚古墳



表紙写真



北条町土下211号墳



米子市別所1号墳



倉吉市沢ベリ7号墳



倉吉市向山142号墳